

共通基盤技術検討WGの検討スキーム(全体像)

共通基盤技術の基本機能の整理

主要な基本機能を整理し、全体を俯瞰的に把握する(共通基盤技術としての全体の把握)

【重点化の評価軸】

十分な革新性・基盤性・実現性(新規性の大きさや実用化が社会に与えるインパクトの広さ等)を有する技術に対し、社会的貢献度・国際競争力(日本の優位性)・官民の役割等を勘案

重要課題解決に有効な 主要な取組の特定

○復興再生、GI、LI、重要課題解決のニーズと、共通基盤技術の主要取組(シーズ)とをマッチング

※産業競争力、国民生活、国家基盤の重要課題についても同様

重要課題解決への提案

○重要課題ごとにまとめ、アクションプラン、重要施策パッケージ等のかたちで関連する戦略協議会、TFに提案する。

共通基盤技術としての 重点化方策の推進

重点化の評価軸に沿って、対象技術を抽出し、中長期的な推進戦略を策定

H25に強力に推進すべき取組・施策等を提案

○重点施策パッケージ等の形でイノベ専門調査会、戦略協議会等に提案する。

中長期的な推進戦略の提案

○戦略協議会等へ提案(提案の形式等については、WGの中で検討する。)

重点化課題検討タスクフォースの役割

○第4期科学技術基本計画（以下「基本計画」）第Ⅲ章について、課題の具体化、重点化の検討を行う場として重点化課題検討タスクフォース（以下「TF」）を設置。

<役割>

- ① 「復興・再生」「グリーンイノベーション」「ライフイノベーション」の科学技術イノベーション戦略協議会（以下「戦略協議会」）で議論することが適切な課題の抽出
⇒ 戦略協議会に提案、科学技術イノベーション政策推進専門調査会（以下「専門調査会」）に報告
- ② 重点化すべき重要課題、具体的な取組を検討・選定し、従来の取組の改善点、府省連携の在り方等、重点化のポイント、推進上の留意点を検討
⇒ 専門調査会に提案
共通基盤技術検討ワーキンググループとは双方向で検討し、課題を共有すると共に相互の検討に反映（随時）
- ③ 継続的な実行・検討体制の要否検討と具体化
⇒ 専門調査会に提案

※TFの検討は、基本計画の課題達成型という基本方針に基づき、基本計画に掲げられた重要課題（重要課題表の左から3列目（黄色）のレベル）の議論を行う（重要課題を論じる際に個々の技術や事業に触れつつ検討する必要がある場合を除く）。

【第1回（4月）（公開）】

- 「復興・再生」「グリーンイノベーション」「ライフイノベーション」の戦略協議会で議論することが適切な課題の抽出
- 基本計画に掲げられた重要課題から、総合科学技術会議として取り組む政策課題（重点化課題）を抽出するための視点（評価軸）を設定



【第2回（6月末）（公開）】

- 重点化の視点（評価軸）に沿って、重点化課題を抽出しつつ、これらを達成するための取組方策（推進策、フォローアップ体制）を取りまとめる

<取組方策の例>

- ・ 府省間・府省内の課題連携を促す。
- ・ 第3期基本計画で選定された「国家基幹技術」の成果を最大限活用し、国主導で研究開発を行うプロジェクト（例えば、国家安全保障・基幹技術プロジェクト（仮称））を創設する。
- ・ 最重要課題として抜き出し、新たに科学技術重要施策アクションプラン（※）を策定する必要があると認められる場合は、戦略協議会の設置を検討する。
- ・ TFでの検討結果をフォローアップする会議体（ワーキンググループ等）を設置し、平成26年度予算編成に向けて検討を継続する。

※ 総合科学技術会議が最も重要と考える施策の方向性を概算要求前に示すことにより、政府全体の科学技術予算の重点化を誘導



共通基盤技術検討ワーキンググループからの技術的視点での提案